# Tenka からの作図(実践編)

## --- この地図を点図にしましょう! ---



※この資料は EdelBoook Ver,9.06 を使って作図しています。

EdelPaper から直接作図する方法もありますが、Tenka という画像読み取り機能を使って、 作図する方法を説明します。

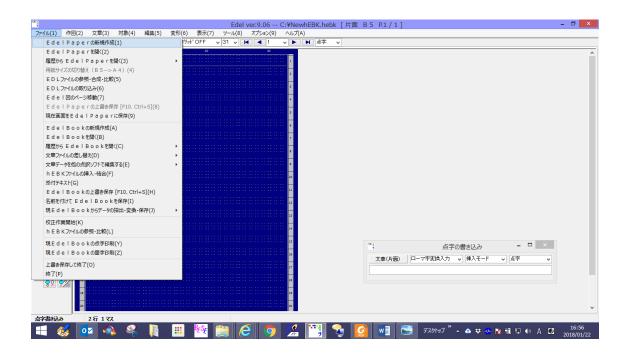
Tenka は Edel パックに同梱されています。Edel パックをインストトールすると、一緒にインストールされます。

## 【作業手順】

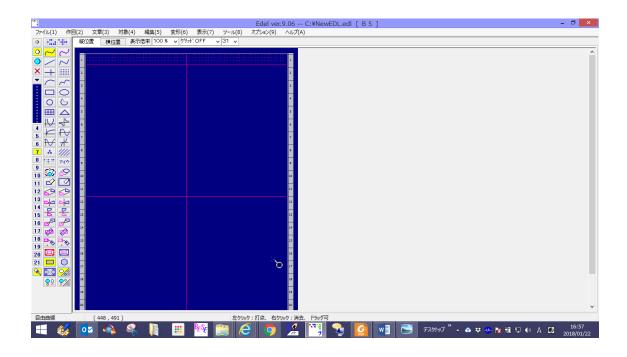
1. JPEG ファイルを作成します。(拡張子は jpg)



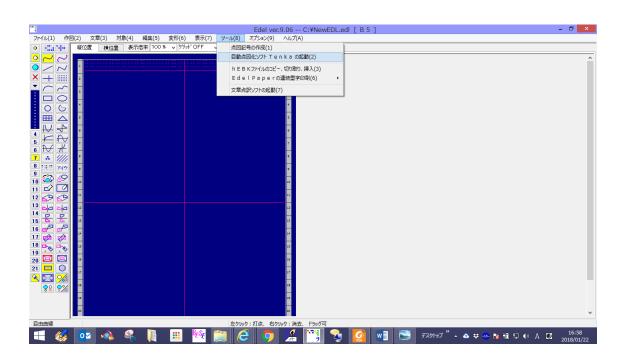
2. EdelPaper の新規作成画面にしておきます。



↓ こうなります。

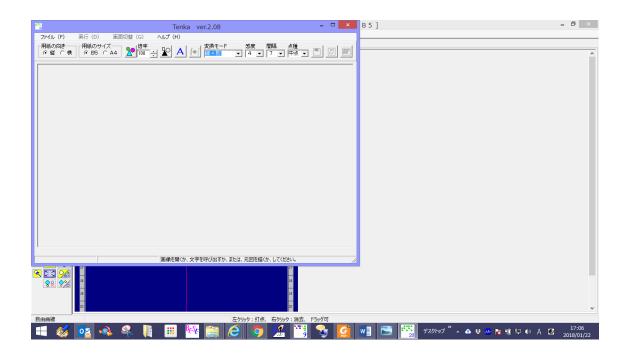


2. Edel の メニュー「ツール」→「自動点図化ソフト Tenka の起動」を選択します。

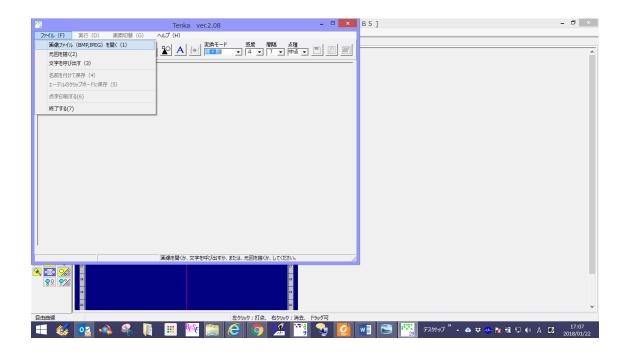


## ↓ こうなります。

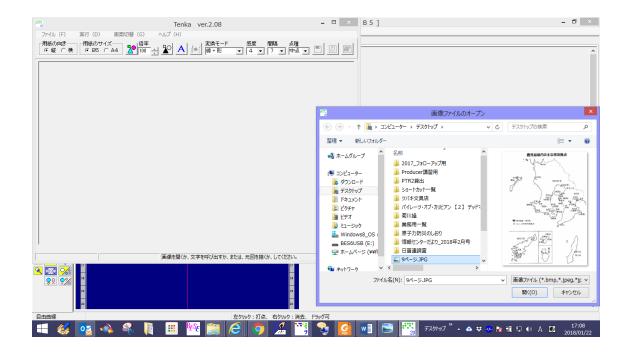
※Tenka は別ソフトなので、EdelPaper とは別に立ち上がります。
点図化したあと EDelPaer を使うので、EdelPaper は立ち上げたまま、少し見えるところに置いておくと使いやすいです。



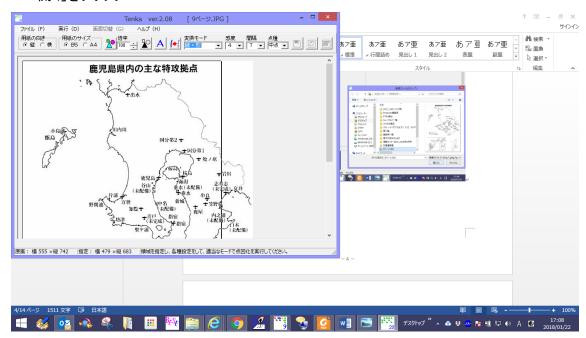
## 3. Tenka のメニューバー 「ファイル」→「画像ファイルを開く」を選択



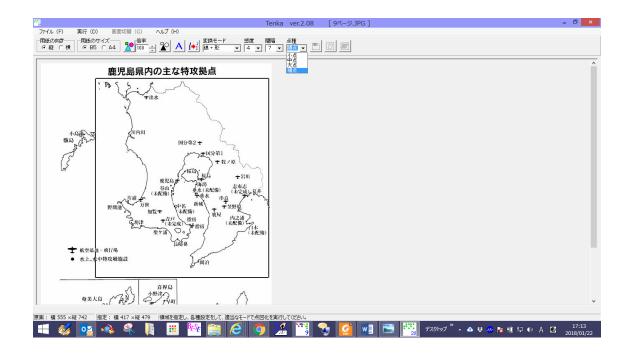
画像ファイルがあるフォルダへ進み、画像ファイルを選択します。 ※1. で作成した JPEG ファイルを選択します。



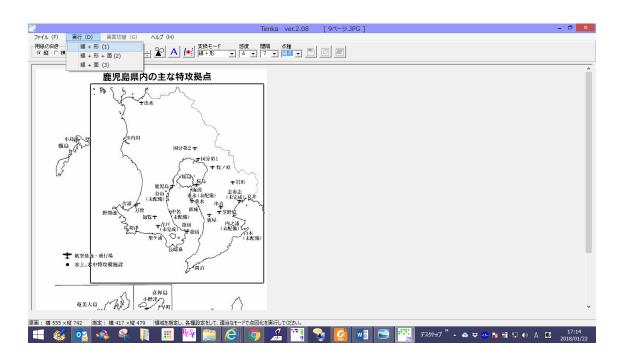
## 4. 「開く」をクリック



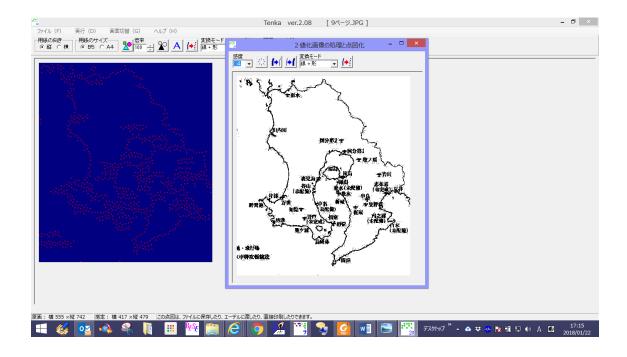
- 5. ① 用紙の向きを決めます。ここでは縦置きのまま。
  - ② 用紙サイズは B5 のまま。
  - ③ 点種を「補点」に変更します。
  - ※「倍率」を以下で変更することもあります。 その他の項目は、ほとんど変更する必要はありません。
- 6. 点図にしたい部分を枠で囲みます。頂点からマウスをドラッグすると枠ができます。 点図にできる範囲しか枠で囲めません。必要に応じで「倍率」を変更します。



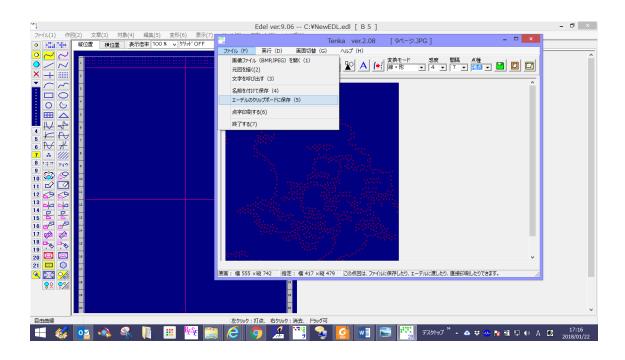
7. Tenka のメニュー 「実行」 → 「線+形」 を選択します。



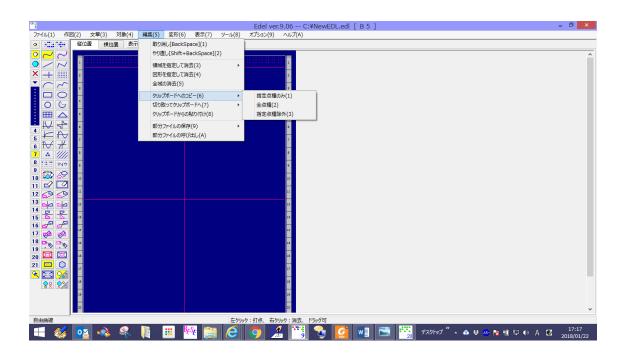
「画像の2値化を行っています。しばらくお待ちください」というメッセージが出て、「2値化画像の処理と点図化」という以下の画面になります。



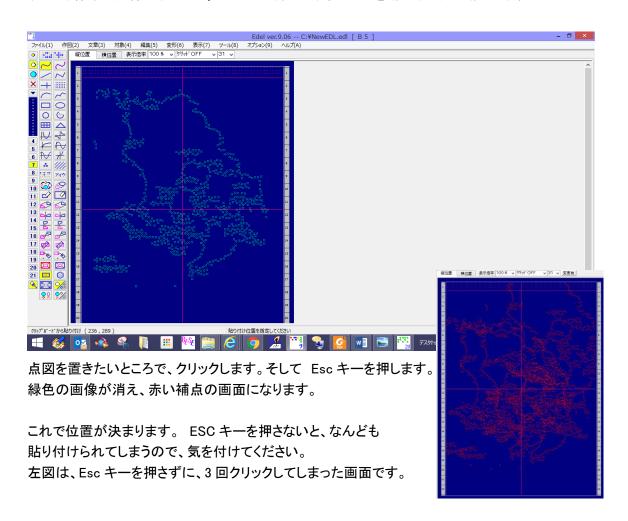
8. Tenka のメニュー「ファイル」 → 「エーデルのクリップボードに保存」を選択



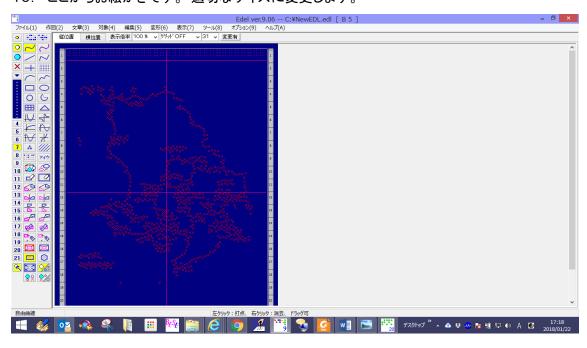
9. EdelPaper のメニュー 「編集」 → 「クリップボードからの貼り付け」を選択



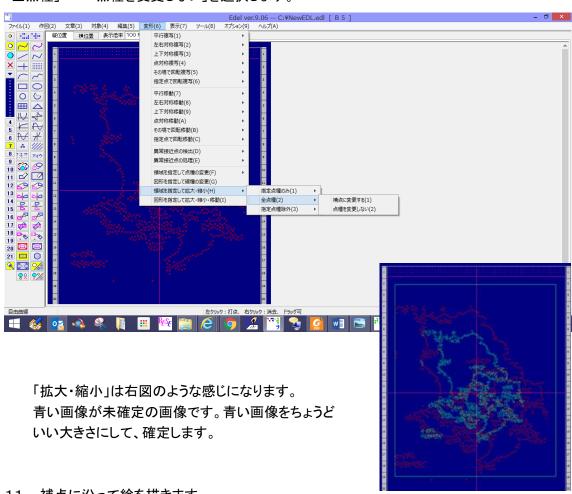
すると、緑路の画像が、EdelPaperの上に現れます。マウスを動かすと図も動きます。



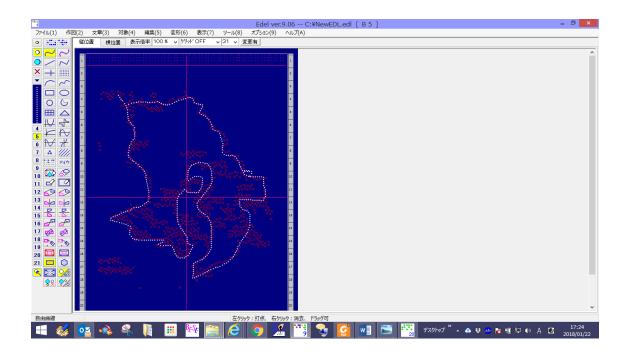
10. ここからお絵かきです。 適切なサイズに変更します。



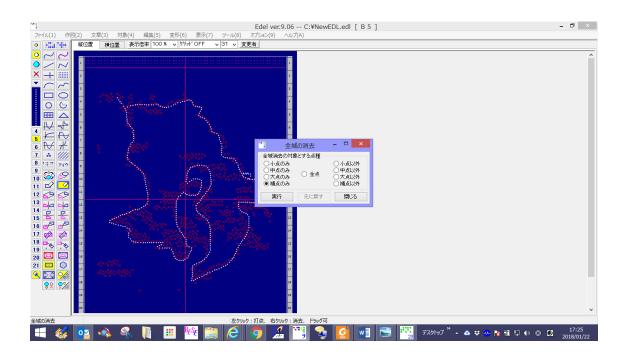
全体のサイズ変更は EdelPaper のメニュー 「変形」→「領域を指定して拡大・縮小」→ 「全点種」→「点種を変更しない」を選択します。



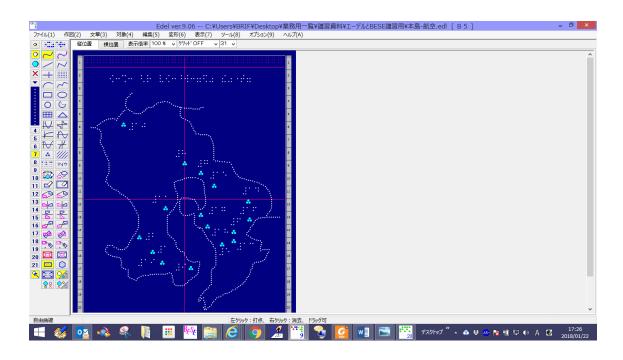
11. 補点に沿って絵を描きます。



## 12. 最後に補点を消します。



## 13. 完成です。



この鹿児島県の地図を「点字編集システム」で作成した本文の BES データに BES のグラフィック データとして結合します。

作業の続きは、「BESE の使い方 実践編」へ……。